

福島第一原子力発電所 原子炉注水システムの増強について

2号機復水貯蔵タンクを新たな注水源として運用開始します

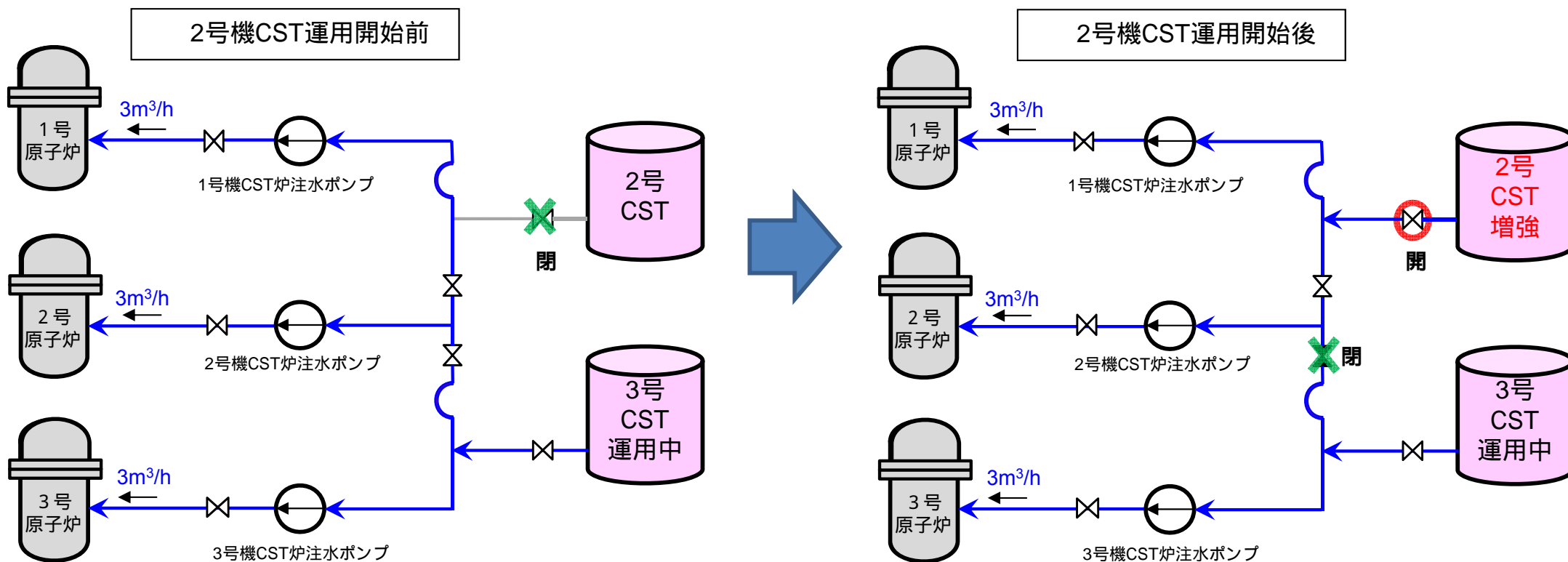
- 現在、1～3号機の原子炉の冷却にあたっては、タービン建屋海側に設置している3号機復水貯蔵タンク（以下CST）を通常運転時における水源として注水しています。
- 一方、3号機CSTに隣接している2号機CSTについては、震災以降、建屋滞留水の一時保管の役割を担ってきました。この度、同タンクの水抜き、点検が完了したため、1月8日から原子炉注水用の水源に追加し、多重化を図ることとしました。
- 通常運転用の水源を増強し、（約2,200m³* ×2基）多重化することで、万一のトラブル発生時や点検時の運用面において、システムの信頼性が向上されます。



*CST保管容量約2,500m³に対し、約2,200m³で運用。

原子炉注水システムの増強概要

2号機CSTの運用開始により、1～3号機原子炉注水について通常運転時の水源を以下の通り変更します。なお、炉注水ラインは、この他に非常時に備えたバッファタンクやろ過水タンク、さらには純水タンクによる注水も可能です。



号機	通常運転時の原子炉注水の水源
1号機	3号機CST
2号機	3号機CST
3号機	3号機CST

号機	通常運転時の原子炉注水の水源
1号機	2号機CST
2号機	2号機CST
3号機	3号機CST